

12月定例会

12月4日(金)~21日(月)の18日間

慎重に審査した結果、
上程された議案や承認案件については
全て賛成、
請願については不同意といたしました。



耳が不自由です

中島りゅうじ 一般質問

豊田市の自殺防止策をテーマに質問しました。

Q&A 豊田市の自殺者数等の推移と近隣中核市との比較について

Q.質問 本市の自殺者数等の推移と近隣中核市との比較について、どのような状況になっているのか？

A.答弁 豊田市の自殺者数は、直近の3年間では、平成29年は48人、平成30年は63人、令和元年は51人。過去10年の推移は増減を繰り返しながら、減少傾向にある。近隣中核市である豊橋市・岡崎市も同様。

しかし令和2年は例年とは異なる状況にある。確定情報は令和3年3月以降に報告される予定。

Q.質問 今後の自殺防止に向けた取組について、どのように考えているのか？

A.答弁 自殺は身近に起こり得る重大な問題であることについて市民理解の促進を図るための啓発事業と自殺対策を支える人材育成として、職員、地域等で相談支援等を担う民生委員等、また、市民向けのゲートキーパー[※]養成研修の実施の2つに重点を置いて取り組む。

新型コロナ等の影響で、今後、自殺者数が増加する可能性があり、今のうちに自殺防止対策を強化しなければなりません。そのためには、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会の実現」が重要なキーワードだと思いますので、実現に向けての取り組みを強く要望しました。



中島りゅうじの要望・意見

※「ゲートキーパー」とは

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のこと。

Q.質問 学校教育における命を大切にす取組強化について、今年の状況を踏まえた上で今後の考えは？

A.答弁 新型コロナウイルス感染拡大による児童生徒の心の不安や心身の不調への対応として、4月当初に教育委員会から「臨時休校による子どもの心のケアに関する情報」を市内小・中・特別支援学校に通っている子どもの保護者に通知した。

体制強化としては、スクールカウンセラーを増員(小学校は週1日、中学校は週2日配置)、児童生徒数200人以上の学校に心の相談員を配置。

また、パークとよたには、スーパーバイザーを新たに配置し、経験の浅いスクールカウンセラーへの巡回等で、より質の高い指導をしている。しかし、配慮の必要な児童生徒が年々増えており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの需要が高まっている。今後も児童生徒の命を守るために、「命を大切にす教育」、教育相談体制等の充実に努めていく。

スーパーバイザーやスクールカウンセラーなどの専門家の配置など様々な取り組みを実施していることが分かりました。しかし、配置だけで終わるのではなく、子ども一人ひとりの変化を見逃さないように、さらなる支援をお願いしたいと考えます。



中島りゅうじの要望・意見